

# 清

S E I F U K U

# 福



令和2年11月  
第92号

題字 総本山金剛峯寺座主葛西光義大僧正猊下

## 高野町議会だより



8月3日 県町村議会議長会会長として二階自民党幹事長（右）に要望書を手渡す大西議長



10月23日 和歌山県町村議会全議員研修会（かつらぎ総合文化会館）

### 令和2年9月定例会

#### おもな内容

- ◇議案審議の結果……………2頁
- ◇議案審議の主な内容……………3頁
- ◇一般質問……………5頁
- ◇議会日誌、編集後記……………12頁

発行 高野町議会  
編集 広報特別委員会

〒648-0281  
和歌山県伊都郡高野町大字高野山636  
TEL：0736-56-2935  
FAX：0736-56-5300  
e-mail:gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

## 9月定例会の概要と議案審議の結果

### ■ 9月定例会

9月1日に招集された9月定例会には、補正予算9件、決算認定12件、人事の同意2件、議員発議による意見書2件等、全28議案が審議され、9月16日に閉会しました。

一般質問については、7名の議員が後述の内容で質問を行いました。

議 題 名	付託委員会名	審議結果
令和元年度高野町財政健全化判断比率の報告について		報 告
令和元年度高野町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		原案可決
令和元年度高野町一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町富貴財産区特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町立高野山総合診療所特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
令和元年度高野町水道事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認 定
専決処分の承認を求めることについて(令和2年度高野町一般会計補正予算(第3号))		原案承認
令和2年度高野町一般会計補正予算(第4号)について		原案可決
令和2年度高野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和2年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計補正予算(第1号)について		原案可決
令和2年度高野町下水道特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和2年度高野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和2年度高野町介護保険特別会計補正予算(第1号)について		原案可決
令和2年度高野町生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和2年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第1号)について		原案可決
令和2年度高野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について		原案可決
高野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		原案同意
高野町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		原案同意
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)について	総務文教常任委員会	原案可決
防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた社会資本整備の更なる推進を求める意見書(案)について		原案可決

# 9月定例会 議案審議の主な内容

## 専決処分の承認

### 高野町一般会計補正予算(第3号)

**内容** 歳入歳出それぞれ1,570万円を追加するものです。

**質疑** 総務費・新型コロナウイルス対策水道料金等無償化代替給付金150万円について説明願います。

**答弁** 上・下水道料金3カ月分の無償化に伴い、対象とならない世帯には商品券を配布する予定でしたが、使いにくいということで現金を給付することにしたものです。最終的に106世帯に給付しました。

**質疑** 保健衛生総務費・新型コロナウイルス対策消耗品費249万円、新型コロナウイルス対策郵送料10万1千円について説明願います。

**答弁** 消耗品は、10月初旬に町民の皆さまに配布を予定しているマスク50枚入り3,000箱の費用で、役務費はそのマスクの引換券を郵送するものです。

**質疑** 元白藤小学校修繕料106万1千円について説明願います。また、元白藤小学校はどのように使用されているのですか。

**答弁** 7月の豪雨により屋根が剥がれ雨漏りがしたため修繕したものです。施設は地元住民が中心となり活用されており、今年度は8・9・10・11月にコーヒーフェスタを行うことになっています。

**反対討論** 元白藤小学校の活用についての説明ではコーヒーはどのような方に売られるのか分かりませんので、分かるように説明してもらいたい。

## 賛成討論

コーヒーフェスタはどのようなものかとのことですが、実際コーヒーフェスタに行ったところ、各メーカーが来てコーヒーの販売をされており、使用していますので賛成します。

**採決** 賛成多数で可決されました。

## 補正予算

### 令和2年度一般会計補正予算(第4号)

**内容** 歳入歳出それぞれ3億1,070万円を増額するもので、予算総額は53億4,800万円となります。

**質疑** 歳入・商工費国庫補助金の誘客多角化等の為の魅力的滞在コンテンツ造成実証事業国庫補助金1,977万9千円について説明願います。

**答弁** 観光庁が募集していたもので、高野山らしい宗教の癒やしや森林の癒やし等を用いて、未病ケアを目的としたヘルスツーリズムの実証事業を行うものです。

健康をテーマにした公開講座や講座の参加者を対象にしたアンケート収集分析、また、高野山総合診療所に委託して企業の方を対象に健康診断の実施などを行い、来山者を増やせないかと観光庁に提案しています。

**質疑** 新型コロナウイルス対策プレミアム商品券については、6月議会で可決した内容とは違いますが、どうして変わったのですか。5千円商品券配布では手厚くなく、少ない。

**答弁** 町民に2千円で5千円の商品券を買っていただく予定でしたが、住民に対して手厚くしたいと町長が英断しまして給付することになり、2千円×3千人分の600万円を減額しています。10月にマスクを配ると同

時に給付したいと考えています。

**質疑** 新型コロナウイルス対策プレミアム商品券は2万冊発行し、うち1万7千冊は観光・参拝客用に販売することですが、売れ残った場合、町民は買えるのでしょうか。

**答弁** 住民については給付しますので買えますが、コロナの影響で残った場合は、繰り越して来年春から夏にかけて使えるようにしたいと考えています。

**質疑** 総務費・文書広報費のPRキャラクター製作委託料150万円について説明願います。

**答弁** 今回、町のオリジナルキャラクターを製作して、町のPRをしつつ、ふるさと納税のPRにつなげたいと考えています。年末までにふるさと納税の返礼品の開発やPRに使いたいと考えています。

**質疑** 地域振興費の高野町ワークショップ誘致促進協議会分担金160万円について説明願います。

**答弁** 町、高野山宿坊協会、高野山寺領森林組合で協議会を設立しています。この協議会で環境省の補助事業として、ワークショップの誘致に対しての整備やテストマーケティングを実施することになり、その協議会への分担金です。

活動の拠点として高野山森林公園管理棟を中心に事業所を募集して、体験をして、「パークション」というよりは「メディアーション」しながら「ワーク」もするということで進めていけたらと思います。今後コロナ終息後、分散型社会を作っていく中では高野山がある高野町としては可能性がある事業になるのではないかといいことで頑張っていきます。



**質疑** ワークেশヨンの推進に当たって、周辺地域の自然環境、空き家等の活用の見込みも掘り起こして併せていただけたらと思います。

**答弁** いろんな企業がいろんな要望をしてくると思いますので、うまく手当てができるようにと思っています。特に富貴・筒香地区は光ファイバーケーブルを敷設しインターネット環境が優れていますので、それを利用しながら広く企業の誘致、ワークেশヨンの実現を目指していきたいと思っています。

**質疑** 支所費の印刷製本費9万9千円、停留所案内板購入費6万9千円について、以前コミユニティバスについての会議の時に、橋本駅に行くように進めているとのことでしたが、どうなっていますか。

**答弁** 橋本駅前に停留所を設置し、隅田駅を休止にする予定です。現在、橋本市と五條市の了承を得ています。ただ、橋本市のタクシー会社3社から説明を求められており、説明することになっていますが、高野町の承認を得た後、陸運局に書類を提出し許可をもらいます。現時点では確実にはわかりませんが、11月か12月には運行できるのではないかといいところですか。

**質疑** 観光費の女人高野日本遺産協議会補助金308万7千円について説明願います。

**答弁** 6月に高野町、九度山町、河内長野市、奈良県宇陀市が「女人高野」という日本遺産の指定を受けています。それをPRし、理解していただくため、4市町の協議会の事務局をもっていただいている河内長野市に支出するものです。大部分が女人道の入口付近に日本語と英語の看板を設置します。ほとんど国の補助金が充当されることとなります。

高野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

**内容** 歳入歳出それぞれ5,286万5千円を追加するものです。

**質疑** 国保運営委員会では保険料を値上げしなければならぬのではとの意見が出ます。この状態をどのように判断しますか。

**答弁** 今後、広域化に向けて保険料の統一化が図られます。高野町の保険料についても段階的に予備費を使いながら値上げをしていかないと、いきなり広域の価格に引き上げられると混乱しますので、今後検討していくべき課題であると考えています。

**質疑** 令和元年度の決算では、国保の基金は1億798万5千円あります。広域化された場合、基金はどうなるのでしょうか。吸い上げられたりしないのでしょうか。

**答弁** 正式な見解は県からも示されていませんが、恐らく吸い上げられるのではないかと懸念しています。高野町の保険料の間際しつかり住民の皆さまのために使っていくことを今後検討していく必要があると思っています。

令和2年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第1号)

**内容** 歳入歳出それぞれ731万5千円を追加するものです。

**質疑** 看護師詰所屋根漏水改修工事52万2千円について、説明では建物全体が傷んでいると感じました。一度建物自体を見直すという意味で建物を検査して、どういうような対処をすることによって診療所が長く安心安全に継続していけるかと考えなければならぬ

のではないのでしょうか。

**答弁** 7月の豪雨により2階屋根部分より雨漏りが発生しましたので、改修するものがあります。建物自体の老朽化は進んでいると思っています。屋根も色落ちがしており、どこから漏れているのか分からない箇所もあります。現在調査しているところですので、内容が分かれば新年度予算で計上できればと思っています。

**質疑** もしこれからコロナ感染者が出た場合のことを考えるとPCR検査ができる環境であればいいと思いますが、いかがですか。

**答弁** 現在、和歌山県においてはPCR検査は医師が必要と認めた場合、保健所に連絡をして県と連携を密にし、実施します。県の意向が変わらない限りPCR検査は当院で実施することはありません。今、発熱外来では医師の指示が必要な部分に関しては抗原検査を実施しています。

人事の同意

高野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるところについて

**内容** 前任者の退任により新たに選任が必要となるため、議会の同意を求めるところです。

**質疑** なるべく議長、議員と関連する方は避けたい方が多いのではないかと思います。他に選任する方はおられなかったのですか。

**答弁** 議会の同意を得て町長が選任することになりますので、何ら問題の無いことと考えます。委員の選任については、高野町の住民、納税義務者であればどなたでもなっております。ただ、それが可能です。



中前 好史 議員

### 防災対策について

**質問** 新型コロナウイルスの感染拡大予防を考  
えて、住民が安心して避難所に避難でき  
る内容・台風接近時の役場の体制をお答えく  
ださい。

**答弁** (防災危機対策室長) 通常の台風対策で  
は、役場の防災体制は、情報収集体制、  
警戒体制1号・2号、配備体制1号・2号、  
災害対策本部体制の6段階です。

台風接近時には防災危機対策室で台風情  
報を収集し、状況を見て住民の皆様には防災  
無線(町内放送)や知らせてネットなどのツ  
ールを使い情報を伝えていきます。注意喚起は  
初期の段階で行っています。状況によっては  
高齢者の多い周辺地区では町内会長に直接  
電話をしたりしながら情報を伝えていきます。

台風がさらに接近する段階になれば、役場  
庁舎内各課で情報共有を行います。各課長に  
集まっていたいただき、和歌山気象台からの台風  
見通し資料に基づき、防災体制や対策を決め  
ます。その後、職員を召集して避難所を準備  
し、避難情報を発令します。避難者が自分で  
来ることができない場合は連絡をいただき、  
送迎対応しています。

今回、新型コロナウイルス感染拡大予防対

策としては、避難者に対して、非接触体温計  
で体温チェック・手洗い消毒・マスク着用を  
していただき、2メートル間隔、無理であれ  
ば1メートル間隔で入っていただきますが、  
その場合は間仕切りパーティションも使用  
します。避難所備品として薬用石鹸、使い捨  
て手袋も用意しています。また、2メートル  
四方の簡易テントも100張り備蓄してお  
り、有効に活用しながら感染予防に努めてい  
きます。

福祉健康体制については、保健師が必要に  
応じて巡回し、避難者の管理に対応します。  
災害に備え、自主防災会(町内会)各会長  
様には避難所運営リーダー養成講座を受け  
ていただき、顔の見える助け合いのできる関  
係づくりをしています。

### 高野山総合診療所について

**質問** 高野山総合診療所では最新の機器で検査  
できるよう設備をしていますが、台風到  
来時は建物に不安なところはないか。停電時  
使用する自家発電機の不備はないかをお答  
えください。

健康面で大病を防ぐため高血圧ゼロのま  
ちの宣言をしましたが、対応をお答えくださ  
い。

**答弁** (診療所事務長) 高血圧ゼロまち宣言事  
業に関しましては、多くの方が自分の体  
に興味を持っていただき、健診を受け、その  
結果を持って医療機関等を受診し、相談しな  
がら早期に治療を進めていただく考えです。

町民への広報については、8月28日発行の  
広報高野9月号より医師等のコラムを開始  
しました。皆様に分かりやすくするために、  
質問形式QAとして、今回はコロナウイルス  
の予防編として田中院長代理のほうから広  
報に掲載しています。また町の知らせてネッ  
ト・ライン、診療所のフェイスブックなども  
活用しております。それと健康講座の開催を  
進めていきたいと考えています。

建物改修工事については、補正予算として  
蒸気管改修工事と詰所上屋根工事を上程  
させていただきました。レントゲン室には医  
療検査機器が入っております。屋根劣化等が  
見受けられることから屋根全体の検査をお  
こない、新年度予算で屋根塗り替え等検討し  
ていきたいと思えます。発電機については約  
25年経過のため修理を重ねています。医療機  
器が安心して使用できるよう買換えも視野  
に入れ適切に努めていきたいと思えます。

**答弁** (福祉保健課長) 高血圧ゼロのまちプロ  
ジェクトの一環で、2週間血圧測定を続  
けていただく取り組みを開始しました。血圧  
測定を続けた後のアンケートでは、自分の数  
値を知ることによって正常な血圧数値になるよう  
生活習慣を見直したいといった前向きな回  
答が目につきました。まずは健康への気付き  
から、生活習慣病対策につなげていきます。

**答弁** (町長) 今後も修繕・更新も考えていか  
なければなりません。計画的に必要な  
ところから順番に優先順位をつけたい  
と思えます。





松谷 順功 議員

森林の財産管理とその資源利用について

**質問** 森林経営管理法が平成31年4月に施行されています。また、市町村に譲与される森林環境譲与税の活用など、町の責務は重要です。

町有林は適正に管理されていますか。また、戦後推進されてきた杉やヒノキなどの森林資源が、本格的な利用期を迎えているのではないですか。

**答弁** (総務課長) 町有林の管理につきましては12か所あり、約100haで除伐・枝打ちなどの整備は完了しております。樹種・樹齢につきましては、主に杉・ヒノキ。松で36年生から105年生で、利用可能なものが多くあるかと思いますが、搬出にコストが高くかかる場所が多いと思います。

**質問** 現在進められている高野町学びの交流拠点整備事業に、町有林や高野町内の森林から産出された紀州材の利用ができませんか。森林の有する多機能的で持続的な発展とともに、素材生産から製材加工に至る地域林業、木材産業等の振興に寄与するなど、経済活性化に資するものであると思います。また、木材の伐採現場や加工風景を子供たちが見学することにより、林業への学びの場にな

るのではないかと思います。

**答弁** (教育次長) 今回、建設する建物の要求水準書の中で木材を積極的に採用し、自然豊かな高野町にふさわしい、温かみのある空間づくりを重視すること。使用する木材はできる限り紀州材等の、地場産材の採用に努めると記載されており、事業において積極的に、特に内装材には木材を利用する提案を求めています。

また、8月3日、4日に開催しました参加グループにおけるサウンディングを行いましたところ、町有林の利用を提案してよいかというような質問もありました。前向きに利用できるように考えております。

**質問** 高野町では木に親しむ活動、木育がなされていると思います。今回の施設整備の中で植栽等の整備も大切で、子供たちが自然に関心を持つポイントになると思います。また卒業記念で植えたハナミズキ等も大切にしていただきたいと思えます。

**答弁** (教育次長) 施設周辺の植栽について、特に学習で使うような広葉樹を植えて利用したいと考えております。例えば高野紙の原料であるコウゾを植栽して、高野紙を作る体験等を考えております。記念植樹の樹木については、大切なものですので移植を考えております。

**質問** 住民の方の中に自分が所有する山の木(高野六木)、榎の木を提供したいという考えの方もおられます。今回の建物に住民が協力できるような仕組みを考えることができませんか。

**答弁** (教育次長) 非常にありがたいと思っております。利用できる状態で提供いただけるのであれば、活用させていただきたいと考えております。

また、住民参加の仕組みについては少し協議したいと思えます。

**答弁** (町長) 住民の財産である大切な森林を、公共の施設に使えないかとの質問をいただきました。この事業を進めるときに、私も担当課に町有林を利用できないか相談をいたしました。搬出し易い場所の湯川で、広範囲に過去には材として使える立派な木があった、というふう聞いております。今から思えば残念なことです。

今後、計画が進んでいく中で、どの種類の樹齢の木がどれだけ要するのかというのが分かった時点で、町内に森林環境譲与税を何処まで補助的に使えるかというところもありますが(自己負担もあり)、補助で材を出していただく。そして公共施設に使うというような志の山の持ち主さんがいれば、役場とも協議できたらなというのが希望的な意見でございます。

コスト重視か、また考え方重視かというようなどころになってしまいますが、将来の子供たちが学ぶ場所、また多くの住民の皆様が集っていたく場所というようなことを考えると、やはり町有林であれ、また町内で山を持っている方の材を使いたいというような気持ちは持っておりますので、担当課とも考えてまいります。



大谷 保幸 議員

富貴診療所の件について

**質問** 富貴診療所の院長が今年度定年を迎えるとお聞きしていますが、今現在、町として富貴診療所の医師についてどのように考えていますか、どのように思っていますか、どういう位置づけですか。

**答弁** (富貴支所長) 田中医師の継続勤務を考えています。富貴・筒香地区住民のために昼夜を問わず診療していただき、地域医療にはなくてはならない大切な医師です。来年度以降も診療所で勤務していただきたいと考えています。

**答弁** (町長) 富貴・筒香地区の地域医療を維持していくためにはなくてはならない医師というふうな町として考えています。田中先生とは、6月29日にこの本庁舎において、来年度にはなりません、引き続き高野町の医療、そして富貴・筒香地区の住民の地域医療をどうか引き続き診療に従事してほしいという旨を先生

のほうにお伝えをしました。先生からは、当然引き続き富貴診療所の抱える患者のために、自分の体が動く限り勤めさせていたきたいと回答を得ました。当然口約束というようなものではないと思います。町の要望・考えを伝えて、先生の気持ちとそこで確認したというようなことです。今後、働いていただく段階になる前に、当然雇用契約書等を交わすものと考えています。

**質問** 老人が多く、限界集落になりつつある富貴・筒香住民が利用している診療所です。主治医としている人が多いと思います。病気等になり、大きな病院に行くときは、紹介状がないとなかなか診察してもらえないというようなことも聞いたこともありです。こういう不安をなくすようなことを町としても存続に努力してもらいたいと思います。今後、富貴診療所をどのように運営されるか。

**答弁** (富貴支所長) 富貴診療所は、富貴・筒香地区住民にとつての大切な掛かり付け医です。現在の体制、医師1名、看護師2名、事務員1名の医療体制を維持しながら、今後も地域住民の健康増進に寄与していきます。

**答弁** (診療所事務長) 現在も、富貴診療所と高野山総合診療所に関しては、医師等不在の場合は連携をもって、富貴の先生がもし不在の場合は高野山総合診療所の医師が富貴診の代診を行うということになっているので、急な休診等になった場合は、そのような手立てを進めていきたいと思っています。

**答弁** (町長) 田中先生はまだまだ若く感じますし、医師としての技量というものは、まだまだ発揮していただけたらと思いますので、しっかり連携をとりながら、富貴の診療所をなくすことなく進めてまいりたいと思っています。しかし万が一、ドクター不在というようになるとするならば、高野山総合診療所の医師を緊急的に派遣するということも考えますし、私の関係で県立医科大学、また関係の医師会等で、非常によい関係に今なっているのです、もし先生が何らかの形で退任される時は、責任を持って富貴・筒香地区の大切な診療所に医師を常駐させるつもりで進めてまいりたいと考えています。







所 順子 議員

コロナ対策費給付金について

**質問** 5月議会で可決された3億円ふるさと納税からと称し、メディアなどで発表された給付金については、どのような給付になっているのですか。もう3カ月以上も経っているがこれではタイムラグになりますし、この事についての説明願います。

○事業者に対してはどの様に。  
○国から除外となっている宿坊旅館業50件分1億円についてはどの様に。

**答弁** (観光振興課長) 給付されていないのは高野町事業継続化支援金という事で、8月3日から11月30日までの期間申請をして給付する形となっています。現在は106件の申請があり、9月15日に給付できる様にする。旅館業の届出を行っている宿坊には給付はありません。

何故かという国の方で宗教法人については、持続化給付金の対象にならないという事です。

**質問** 町長は初めから法に触れると分かっているからこの1億円を予算化した訳ですから、払えないのであれば宿坊旅館業者に謝罪をするべきだし、この様な予算を可決し町が預かっているという事は如何な事か。この様な予算は全て一度撤回し、宿坊も事業者も住

民にも行き渡る様にすべきです。ふるさと納税は高野町の公金です。差別があつてはいけませんよ。

今の町のやり方は小中一貫新築建物47億円にしても宿坊旅館業者給付金1億円にしても、先に予算を可決させておいて後から物事を考えていくという計画性の無い予算組みをするからこの様な結果が出てくる。真摯な予算化を考えるべき。いつまで保留する気か。

**答弁** (観光振興課長) 国の方では宗教法人には出さないという様に変わっており、現在申請をされている給付金は国が宿坊旅館業に給付してもらえない様になればスムーズに宿坊に払える様になると思つている。その結果を待ちたいと思つている。

富貴産ビールについて

**質問** 高野町住民、富貴住民も一部のしか知らないビール、飲んだ事もないし見た事もないというふるさと納税返礼品とする富貴産ビールですが、富貴の人達の活性化にもなつておらず、高野山内では店などにも売っていないビール、山内のお店には問い合わせだけは沢山あるらしい。何故販売は限られた宿坊なのか。ホップを作っている人達には収入につながるのか。宿坊で販売したビールの代金は町に入るのか。一部のしか知らないビールをふるさと納税返礼品に使うのは如何なものか。富貴にも山内にもメリットはなさそうだ。

**答弁** (建設課長) 富貴のホップを使った法人格に委託です。法人の生産者がホップを作り、和歌山の酒造メーカーが入り製造しています。富貴の農地の耕作放棄地の解消につながり、地域活性化という事で進ませている。将来的に宿坊での利用が増えればホップの量も増えてくるので、富貴での栽培が定着し農業の活性化に地域の活性化となつてくる。富貴事業に大きく寄与する事業だと考えている。

5月に配布されたマスクについて

**質問** ○マスクはどこから仕入れ、予算はいくらなのか。

○消毒液(次亜塩素酸水)はどこから仕入れたのか。

**答弁** (福祉保健課長) (4月配布分の) マスク代金は995万円、1枚が66円。10月配布分は1枚15円で合計247万円になる。

**質問** 全く説明も金額も仕入れ先も報告がありません。報告があるのが当然だと思つているし、お金の出る所が分からないのは困ります。

**答弁** (防災危機対策室長) 消毒液の一部はコジマ薬局です。

**質問** この様な仕入れは高野山内の業者からするべきです。税金を使うのであるから。(マスクについては答弁なし。高野町以外のところで買ったらしい。)

**答弁** (防災危機対策室長) 一定数量多数必要なので山内業者では揃わなかった。



嶋山 文雄 議員

**新型コロナウイルス関連給付金・支援金について**

**質問** 国は、法人事業者に対し200万円、個人事業者に対しては100万円、それに県は20万円、10万円が加算されます。

文化時報の報道によりますと町長は「納税義務を果たしている町の事業者を守る義務が私にはある」、「ふるさと納税を活用し3億円の枠内で、町独自の支援に踏み切った」と公表されています。

高野町においても国と同額の支援金が交付されることとなります。どのような割り振りをされるのか、内容等については十分把握できていませんが、高野町の特殊事情において交付される支援金は、公平で厚くなく薄くなく配分できるように配慮すべきだと考えますがいかがですか。

年度末に確定申告の内容を検討し、最終調整をして交付額を決定して行く等の考えはないのか。

令和元年度の納税義務者からの納税額は、法人で1,916万2千円、個人は1億2,715万2千円、合計では1億4,631万4千円、このうちで給与所得者の分を指し引くと、法人、個人事業者の納税額はこれより少なくなる計算になります。

この事業者に対し新型コロナウイルスに

関連する救済支援金が6億円余りが投入されることとなります。令和3年度予算では、これらの事業者に対し事業継続支援金等も考えて取り組んでいけるのか考えを伺います。

**答弁** (観光振興課長) 高野町事業継続化支援金のあり方については、議員が話された

令和3年2月から3月の確定申告を待つ、昨年と比べ足らずを給付すればとの考えは、確かに理想的な方法なのかは思います。

コロナ禍ということで、3月から4月、5月、6月と緊急事態宣言で動けないなか、高野町内はシャッターが閉ざされ人もいない、全くゼロに近い状況になっていったかと思えます。生き残っていたり必要から、国の持続化給付金を申請すれば法人であれば200万円、個人であれば100万円が最大でいただけます。和歌山県の方は、5名以下の事業所には20万円、6人から100人では30万円が支給されます。

高野町も、遅れてはならないと8月3日から発動させていただき、9月15日に国と同額の、法人200万円、個人の場合は100万円を最大支給させていただくことによって何とか耐え忍んでいたが、秋の観光シーズンには観光客、参拝者が増えてくるなか、普段通りの経済活動に転じて利益を上げていただく方向かと思えます。

高野町の事業継続化支援金については、11月30日をもって閉め切らせていただきます。議員がおっしゃる通り、こうした方法が平等ではないのではないかとのお考えがあり

ましたが、一旦このように決め動き始めていますので、本当に困っている方の給付が遅れないように、この方法で進めさせていただきまますので、ご理解をいただければと思います。

**転軸山森林公園遊園地進入道の修復について**

**質問** 高野山森林公園遊園地への進入道が水で流され相当傷んでいます。承知されていますか(写真提供)、修理の考えはありますか。

**答弁** (観光振興課長) ご指摘の場所は相当傷んでいる事は承知しています。ご指摘のように改修するには大変な作業になり、費用もかなりかかりますので、少し考えて対応させていただきますと思います。お時間をいただければと思います。

**ゲートボール場の窓、外壁の修復について**

**質問** ゲートボール場の窓、外壁の修理はどうなっているのか。3月議会では、町長は、修理の必要性を認められ、財務と相談するとの答弁をされています。

**答弁** (福祉保健課長) 4月課長に就任以来、2、3度現地を調査、地元建設業者に同行いただき、改修方法等について相談しております。来年度予算を要望し、取り組んでいくか検討していきたいと考えております。



中迫 義弘 議員

教育施設再整備事業について

**質問** 高野町学びの交流拠点整備事業の進捗状況を伺います。

**答弁** (教育長) 小中連携教育の中核は、ふるさと教育と英語教育と考えています。ふるさと高野山を誇りを持って語れる子供を育てるため、過去、歴史を知り、現在を把握し、未来について考えるという学習を9年間通して実施したいと考えています。次に、英語教育につきましては、9年間の成果として、中学校卒業時にどの子供も英語を話せるようにすることを目標に掲げました。英語指導のノウハウを伝授してくれる専門家の力を借りるため、ブリティッシュ・カウンシルという団体と交渉中です。英国の公的国際文化交流機関で日本にも支部が置かれ、文部科学省が主催する英語指導教員研修を中心となって実施した実績もあります。この組織の力を借り、英語教育の目標を達成して行きたいと考えています。

**答弁** (教育次長) 新型コロナウイルス感染症予防による緊急事態宣言されたことにより事業スケジュールの見直しを行いました。理由としては、設計事務所等がテレワークなどを導入したが、テレビ会議等になれていなかった結果、協議等が迅速にできない、県を

越えての移動制限があり現地説明会ができない、資材の供給が不透明、などにより延長要望があったためです。その後、事業スケジュールの見直しを行い、事業者募集を5月25日から開始し、現地説明会を6月23、24日に行ったところ、参加事業者数は9社でした。その後、参加表明受付をし、4グループの参加を認め、追加現地視察及び中間サウンディングを8月3日、4日に実施しました。現在、提案書作成期間を5か月間とし、各グループにおいて提出に向け検討されている状態です。プロポーザル審査を11月初旬に開催、事業完了を令和6年7月末に変更しました。また、事業費については、47億円をオーバーしないように進めてまいります。通学路については、役場付近からのバス運行というのを案として考えています。ただ、道の拡幅というのは非常に難しいと考えます。

ふるさと応援寄付金について

**質問** ふるさと応援寄付金の進捗状況を伺います。新しい取り組みはありますか。

**答弁** (企画公室長) 7月27日から受付を再開しました。富貴産ホップを使ったクラフトビールの天空般若、高野・富貴・筒香の松茸、ごま豆腐や森林セラピー体験等を返礼品としてスタートしています。昨日の時点で127件、金額が646万8千円となり、できるだけ地場産品で寄附金額を集めたいと担当も頑張っています。曼荼羅時計、町観光協会が開発した高野山トクトク周遊セットにも力を入れています。高野山限定の旅行チケットを目玉商品にできるよう旅行者者と検

討中です。今、一番人気は高野松茸で、コースが2つ、合わせて40件少し申込みがありました。収穫の時期に発送となります。

**質問** 新商品として高野に求められるチケット、これは許可されますか。

**答弁** (企画公室長) 総務省のルールのにはオーケーということです。今、その商品を作ってもらえる旅行会社と話し合い中で、商品化に向けて検討しています。

**答弁** (町長) 教育施設再整備の件に関しては、ハード面を作るだけでなく、中身のある教育をすることが、今後の高野町の行く末にかかってくるのだと思います。議員おっしゃるとおり、他町村からでもあの場所で教育を受けたいというような施設にしたい。高齢化率は少し緩和され、子供をしつかり育てていく環境が整い、移住してこのまちに暮らし、高野町で勉強していくという流れになってきているふうにも思います。このまちの小中、こども園からでもいいので、あそこに行つて勉強したい、勉強させたいなどいうような施設にしていかなければならない。特色ある教育を今後していかなければ生き残れないと思います。

ふるさと応援寄付金は、去年、おととしのような額にはなりません、平成26年、27年度ぐらいの額を目指していきたい。そして、学校建設の一部、地籍調査の財源にも充て、以前からの事業継続、高齢者・子供等の政策を進めるために、努力して財源を確保して行きます。



# 高野町議会日誌

6月

- 生活支援協議体会議(役場)
- 健康長寿まちづくり調印式(役場)
- 町例月出納検査
- 伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合例月出納検査(役場)

7月

- 高野町交通安全対策推進委員会(役場)
- 京奈和道建設促進協議会監査(役場)
- 橋本周辺広域市町村圏組合議会代表者会(工コライフ紀北)
- 高野町生活安全推進協議会総会(役場)
- 県町村議会議長会理事会(自治会館)
- 高野町こども観光大使任命式(観光情報センター)

8月

- 伊都郡町村及び橋本市児童福祉施設事務組合議会定例会(工コライフ紀北)
- 伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会定例会(工コライフ紀北)
- 広報特別委員会
- 町決算監査

## 一般質問 (質問の詳細については、5～11ページに掲載)

受付順	氏名	質問事項
1	中前 好史	○防災対策について ○高野山総合診療所について
2	松谷 順功	○財産管理(森林)とその資源利用について
3	大谷 保幸	○富貴診療所の件について
4	新谷 英一郎	○町内の空き家対策及び有効な活用について ○鳥獣害対策の強化と拡充を ○コロナ禍における今後の対策と社会経済活動について
5	所 順子	○コロナ対策費給付金について ○ふるさと納税について ○健康長寿まちづくり事業と診療所の今後
6	崎山 文雄	○新型コロナウイルス関連給付金・支援金について ○転軸山森林公園遊園地進入道の修復について ○ゲートボール場の窓、外壁の修復について ○神谷の駅に至る倒木の整理と崩壊力所の復旧について
7	中迫 義弘	○教育施設再整備事業について ○ふるさと応援寄付金について

### 次の方が選任されました

高野町固定資産評価審査委員 大西 正幸  
高野町教育委員 岸本 園子

- 県町村議会議長会(県知事への要望活動(県庁))
- 市町村総合事務組合議会定例会(県庁)
- 議会運営委員会
- 統合型リゾート(1R)に係る勉強会(中央公民館)

### 一般質問のヒント

『発言』および『答弁』の内容は、質問者に編集・校正を任せし、広報特別委員会の責任のもと掲載しております。

## 編集後記

錦秋の候、参拝、観光等で賑わう高野町でございますが、コロナウイルス感染との戦いでもございます。再度、町当局から支援していただきましたマスク、次亜塩素酸水等で感染予防対策をお願い致します。

先日、和歌山県町村議会議長会会長(高野町議会議長)が、6月の高野町議会でも出された町民へのコロナウイルス対策支援が盛り込まれた要望書を二階俊博自民党幹事長、世耕弘成参議院幹事長に提出して参りました。

さて9月議会におきましては、教育長から「小中連携教育の中核」とは世界遺産高野町に相応しいと思われる「ふるさと教育と英語教育」であるとの発言がございました。近未来の子供達はその様な教育を受け、どの様な学力を身に付けるのか、また教育現場の体制や環境にも非常に興味を持つ方針だと感じました。その教育方針は、5番議員の一般質問に掲載されております。

結びになりますが、気温の変化が激しいこの時期、季節性インフルエンザが流行する可能性もございます。高野町では全世代に対して季節性インフルエンザ予防接種代金の一部を助成していただけの制度があります。近隣市町は一部の年齢のみの支援です。町民の皆様には是非ともこの制度を活用していただき、体調を崩されませぬよう何卒ご愛くださいませ。 H・K

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。

審議内容および一般質問の詳細については、高野町ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

高野町HP

<http://www.town.koya.wakayama.jp>

議会事務局：07766-99-2000